

リピーター続出の人気公演！極上の演奏と軽快なトークを楽しむ、お昼前の贅沢なひととき。

芸劇ブランチ コンサート

清水和音の名曲ラウンジ



©Mana.Mikr



トップ・アーティストたちの豪華な共演！

日本を代表するピアニスト・清水和音が中心となり
偶数月に開催している人気公演も、
好評のうちに8年目を迎えることが出来ました。
朝11時からの約1時間、東京芸術劇場コンサートホールを舞台に、
楽しくて本格的なコンサートです。

第41回
2023. 4.19 (水)
「思い出をたどって」

ヴィエニャフスキ: モスクワの思い出 op.6 (Vn+P)
チャイコフスキー: ピアノ三重奏曲「偉大な芸術家の思い出」 op.50
出演者: 南 紫音 (Vn) 笹沼 樹 (Vc) 清水 和音 (Pf)



南 紫音 笹沼 樹

第42回
2023. 6.21 (水)
「楽器編成が変わる
ピアノ三重奏曲」

グリンカ: 悲愴トリオ
ベートーヴェン: 「魔笛」の主題による7つの変奏曲 WoO.46 (Vc+P)
ベートーヴェン: ピアノ三重奏曲「街の歌」 op.11
出演者: 伊東 裕 (Vc) 伊藤 圭 (Cl) 清水 和音 (Pf)



伊東 裕 伊藤 圭

第43回
2023. 8.16 (水)
「フォーレの世界にひたる」

ーオール・フォーレ・プログラムー
シシリエンヌ op.78 (Vc+P) ロマンズ op.28 (Vn+P)
子守歌 op.16 (Va+P) ピアノ四重奏曲 第1番 op.15
出演者: 藤江 扶紀 (Vn) 佐々木 亮 (Va) 佐藤 晴真 (Vc) 清水 和音 (Pf)



藤江 扶紀 佐々木 亮 佐藤 晴真

各回11:00開演(10:30開場) 全席指定: 2,400円(各回・税込)
東京芸術劇場コンサートホール

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1 JR、東京メトロ、東武鉄道、西武鉄道「池袋駅」西口徒歩2分。(池袋駅地下2b出口直結)

主催: 毎日新聞社 MIYAZAWA & Co. 提携: 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場

本公演は5歳以上の方の入場が可能です。但し、お席は必要です(4歳以下入場不可)

託児サービス(有料・定員制・要事前申込)

申込・問合せ: 0120-415-306
(土・日・祝祭日を除く平日9:00~17:00)

お問い合わせ

サンライズプロモーション東京
0570-00-3337(平日12:00~15:00)

公演情報は

MIYAZAWA&Co. 検索



チケット
発売日

2022年12月21日(水)
(3公演同時発売)

チケット
取扱

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296(休館日を除く10:00~19:00) <https://www.geigeki.jp/t/>
チケットぴあ <https://pia.jp/>(Pコード: 4月公演・220-250、6月公演・220-252、8月公演・220-255)
ローソンチケット <https://l-tike.com/>(Lコード: 32997) イープラス <https://eplus.jp/>

各回の
聴きどころ第41回
4/19公演第42回
6/21公演第43回
8/16公演

数々の国際コンクールで上位入賞を重ね、いま最も期待される若手ヴァイオリニスト、南紫音が初登場です。お馴染みのメロディで始まるヴィエニャフスキを南紫音のソロでお聴きいただき、メインは大曲のチャイコフスキーのトリオを堪能いただきます。

ピアノ三重奏曲といえば多くは、ヴァイオリン・チェロそしてピアノですが今回はヴァイオリンに替えてクラリネットでのピアノ三重奏をお届けします。有名なベートーヴェンの「街の歌」はヴァイオリンでお聴きになることが多いと思いますが、ベートーヴェンは元々クラリネットで書いています。グリンカの悲愴トリオのオリジナルはクラリネット、ファゴットとピアノです。

19世紀から20世紀の初頭にフランスで活躍したフォーレ特集です。フォーレの作品は「パヴァーヌ」や「夢のあとに」「月の光」など、よく知られて親しみやすい曲でお馴染みです。今回はそうした小品を3つの楽器でお聴きいただきます。そして最後は初期の傑作「ピアノ四重奏曲第1番」でフォーレの世界に浸ってください。

清水 和音 (ピアノ)
Kazune Shimizu (Piano)

完璧なまでの高い技巧と美しい弱音、豊かな音楽性を兼ね備えたピアニスト。ジュネーヴ音楽院にて、ルイ・ヒルトブラン氏に師事。1981年、弱冠20歳で、パリのロン＝ティボー国際コンクール・ピアノ部門優勝、あわせてリサイタル賞を受賞した。これまでに、国内外の数々の著名オーケストラ・指揮者と共演し、広く活躍している。室内楽の分野でも活躍し、共演者から厚い信頼を得ている。これまでにソニーミュージックやオクタヴィア・レコードなどから多数のCDをリリースし、各誌で絶賛されている。2011年には、デビュー30周年を記念して、ラフマニノフのピアノ協奏曲第1番～第4番とバガニニの主題による狂詩曲の全5曲を一度に演奏するという快挙を成し遂げた。2014年から2018年の5年間は年2回のリサイタル・シリーズ「清水和音 ピアノ主義」を開催。幅広いレパートリーで聴衆を魅了した。2016年4月からは、年6回の室内楽シリーズ「芸術ブランチコンサート」を開始するなど精力的な活動を続けている。デビュー40周年となる2021年春には「3大ピアノ協奏曲の饗宴」で、ベートーヴェンの「皇帝」チャイコフスキー第1番そしてラフマニノフ第2番の3曲を一気に披露。秋には「清水和音 ピアノの祭典」と題し、ソロから室内楽まで4時間を超えるプログラムで大きな存在感を示した。桐朋学園大学・大学院 教授。



全公演出演

©K.Miura

会を清水和音氏をパートナーに迎えて行い大きな話題を集めた。CDはユニバーサルミュージックより3枚リリース。10年ホテルオークラ賞、11年出光音楽賞、17年北九州市民文化賞受賞。

笹沼 樹 (チェロ)
Tatsuki Sasanuma (Cello)

2022年第20回齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。ARDミュンヘン国際コンクール弦楽四重奏部門第3位。ニューヨークのYoung Concert Artists International Auditionで第1位。第22回ホテルオークラ音楽賞受賞。ソロでは東京音楽コンクール第2位、日本音楽コンクール入選。室内楽奏者としても横浜国際、ルーマニア国際、ザルツブルク＝モーツァルト国際などのコンクールで優勝。桐朋女子高等学校音楽科を首席卒業後、桐朋学園大学ソリストディプロマコース修了、並びに学習院大学文学部卒業。同校で2017年6月に天皇皇后両陛下をお迎えしての天覧公演となったリサイタルシリーズは毎年開催されている。桐朋学園大学大学院修了。NHK交響楽団アカデミー生修了。2019年1月にはデビューCD「親愛の言葉」(日本コロムビアレコード芸術特選盤)をリリース。大きな話題となる。V.アダムーラ、古川展生、堤剛の各氏に師事。カルテット・アマービレ、ラ・ルーチェ弦楽八重奏団のメンバー。使用楽器は1771年製C.F.Landolfi(京次コレクション)。



4月出演

©Taira Tairadate

伊東 裕 (チェロ)
Yu Ito (Cello)

日本音楽コンクールチェロ部門第1位受賞。莫トリオとして、第67回ARDミュンヘン国際音楽コンクールピアノ/三重奏部門第1位受賞。関西フィル他オーケストラと協演。クラシック倶楽部、紀尾井ホール「明日への扉」などに出演。斎藤建寛、向山佳絵子、山崎伸子、中木健二、E・ブロンツィ各氏に師事。東京藝術大学音楽学部を首席で卒業し、同大学院を修了。ザルツブルク＝モーツァルテウム大学、ミュンヘン音楽大学にて研鑽を積み。紀尾井ホール室内管弦楽団メンバー。2022年8月より東京都交響楽団首席チェロ奏者。



6月出演

伊藤 圭 (クラリネット)
Kei Ito (Clarinet)

宮城県出身。東京藝術大学卒業。第6回日本クラリネットコンクール第1位。第74回日本音楽コンクール入選。2019年「天皇陛下 御即位30年 奉祝感謝の集い」において 特別奉祝演奏(W.A.モーツァルト クラリネット協奏曲)を務める。これまでにクラリネットを千石 進、日比野 裕幸、野田 祐介、山本 正治、三井 秀実、村井 祐児の各氏に師事。現在、NHK交響楽団首席クラリネット奏者。東京音楽大学兼任准教授、東京藝術大学、国立音楽大学講師。



6月出演

藤江 扶紀 (ヴァイオリン)
Fuki Fujie (Violin)

第80回日本音楽コンクールバイオリン部門第1位、La Fondation Banque Populaire音楽賞など多数受賞。東京藝術大学卒業後、パリ国立高等音楽院大学院を最優秀の成績で修了。国内外において数々の音楽祭・演奏会に招待され、ソロのみならず室内楽でもリサイタルを行う。現在、フランス、トゥールーズキャピトル国立管弦楽団コ・コンサートマスター(Co-Soliste)。



8月出演

佐々木 亮 (ヴァイオリン)
Ryo Sasaki (Viola)

東京藝大附属高校、東京藝術大学、ニューヨーク・ジュリアード音楽院出身。室内楽コンクールで優勝など多数。全米各地にて活動後、2003年帰国。2004年NHK交響楽団入団。2008年より首席奏者。東京藝術大学、桐朋学園大学、洗足学園音楽大学、東京音楽大学にて後進の指導にも当たっている。



8月出演

佐藤 晴真 (チェロ)
Haruma Sato (Cello)

2019年、ミュンヘン国際音楽コンクールチェロ部門において日本人として初めて優勝し、国際的に注目を集めた。18年、第11回ルトスワフスキ国際チェロコンクール第1位および特別賞受賞など多数の受賞歴を誇る。バイエルン放送響はじめ国内外の著名なオーケストラと共演しており、リサイタル、室内楽でも好評を博す。20年には名門ドイツ・グラモフォンよりCDデビューし、現在2枚リリース。ベルリン芸術大学在学中。使用楽器は京次コレクションより貸与されたE. ロッカ1903年製。



8月出演

©Seichi Saito

芸術ブランチコンサート

—— 清水和音の名曲ラウンジ ——

2023年度下半期予定

6月21日発売予定

第44回 2023年 10/25(水)

第45回 2023年 12/20(水)

第46回 2024年 2/7(水)